

令和7年度外部評価会 集計表(農業者用)

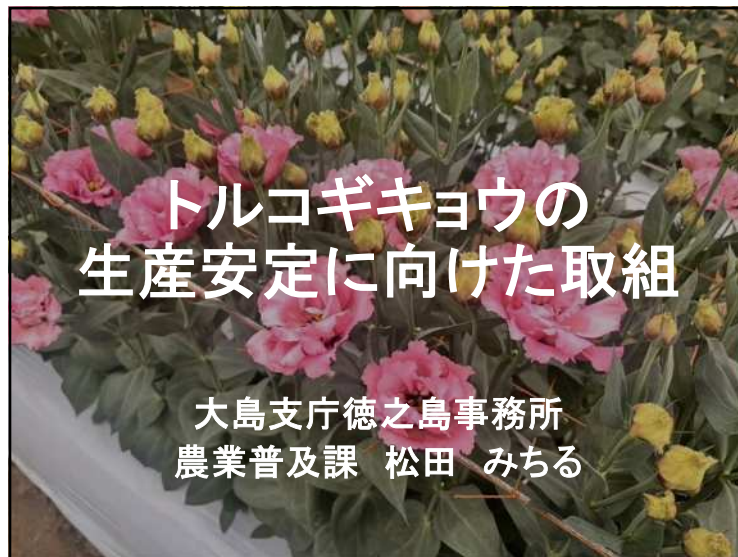
所属名: 大島支庁徳之島事務所農業普及課

課題名③ トルコギキョウの生産安定に向けた取組						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	1	2			
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	2	1			
活動体制・ 活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	3				
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3				
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3				
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3				
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	2	1			
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	1	2			

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 大島支庁徳之島事務所農業普及課

課題名③ トルコギキョウの生産安定に向けた取組						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	7	2			
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	9				
活動体制・ 活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	5	4			
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	7	2			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	7	2			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	5	4			
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	6	3			
活動の 波及性 と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	4	5			
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	5	4			



1

トルコギキョウについて

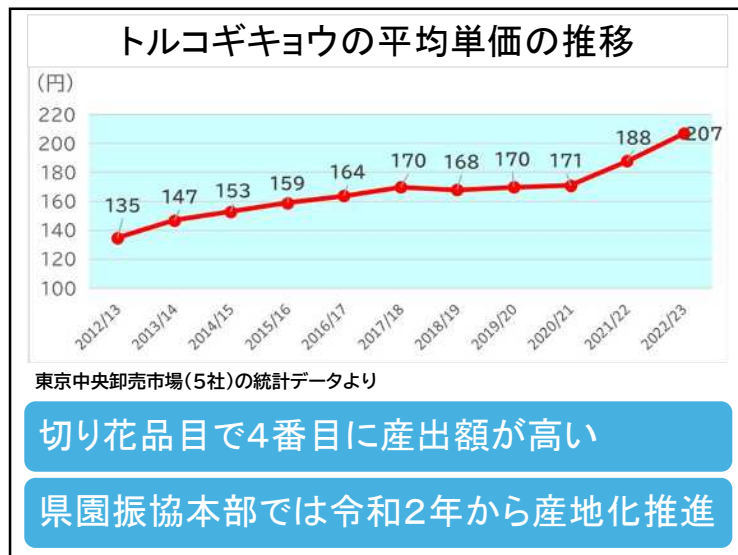
北米大陸原産のリンドウ科の花

流通する品種のほとんどが日本で育種

冠婚葬祭やアレンジ、花束など用途が多岐



2



3

徳之島での導入経緯

徳之島ダムの通水を見据え、新規品目を検討

トルコギキョウが沖永良部、与論で先進的に栽培



4

年 度	内 容
H22～23	天城町農業センターで試験栽培
H24	生産者への生産普及・導入開始
H26	徳之島トルコギキョウ組合設立
現在 (R7・8)	組合員とJA部会員が生産

5

取組の背景	
項 目	内 容
生産者数	6戸（天城町5戸，徳之島町1戸）
栽培面積	31a
経営形態	すべての生産者が 複合経営 (バレイショ，パッションフルーツ等)
単収 (モデル生産者3戸)	21,810本／10a (R5～6) (県収益性指標 34,000本／10a)
コスト	種苗費の 高騰

6

現状(問題点)

単収が低い

- 連作による病虫害被害
- 生育不良の要因が把握できていない
- 2度切り栽培の取組が少ない

コスト(種苗費)が高い

- 自家育苗技術が確立されていない

7

課題と取組内容

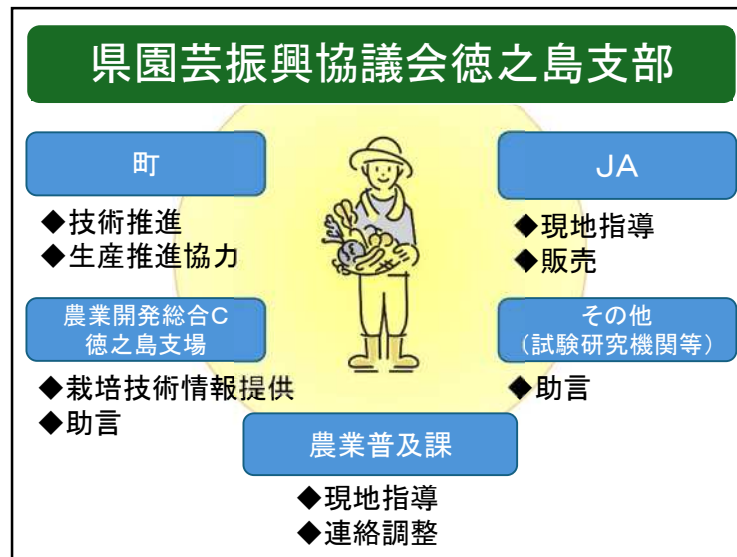
単収向上(生産者の意識向上)

- 1 土壌還元消毒の推進
- 2 生育不良要因の把握・対策指導
- 3 2度切り栽培の推進

コスト(種苗費)低減

- 1 自家育苗技術研修会の開催
- 2 実証ほの設置

8



9

単収向上 1 土壌消毒の推進

センチュウ被害根とネグサレセンチュウ

センチュウ被害による生育不良

- ①土壌還元消毒の実証ほ設置
- ②研修会等の開催

10

単収向上 1ー① 土壌還元消毒実証

土壌還元消毒効果の確認

○センチュウ ○土壌伝染性病害

焼酎かす散布

消毒中(かん水後被覆)

11

単収向上 1ー① 土壌還元消毒実証

実証結果(土壌20g当たりのセンチュウ頭数)

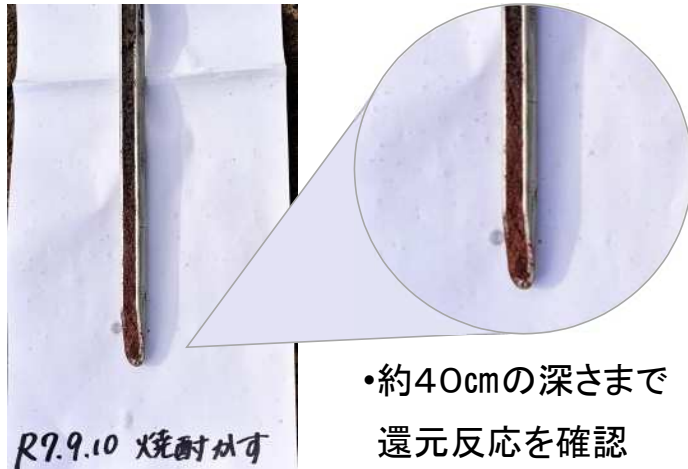
R5実証	消毒前(8/28)		消毒後(10/10)	
	有害	その他	有害	その他
消毒あり	0	62	0	0
消毒なし	2	54	4	61

・土壌伝染性病害の発生なし

R7実証	消毒前(8/7)		消毒後(9/10)	
	有害	その他	有害	その他
消毒あり	4	44	0	0

12

単収向上 1-① 土壌還元消毒実証



13

単収向上 1-② 研修会等の開催



14

単収向上 1 成果

	R5	R6	R7
土壌消毒取組生産者数	1戸	3戸	5戸



焼酎かすの受け取り



組員同士で協力して散布

15

単収向上 2 生育不良要因の把握

○土壌化学性 ○土壌水分 ○土壌物理性

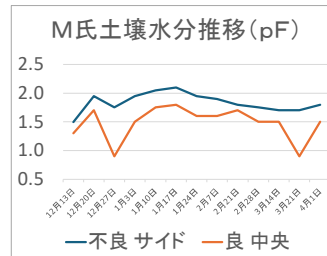
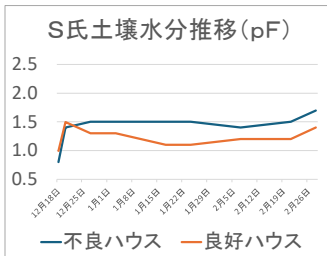


16

単収向上 2 土壌化学性・土壌水分調査

・化学性は有意差がなく, 不良ほ場は乾燥

ほ場	pH	EC	CaO	MgO	K ₂ O	P ₂ O ₅
良好	6.93	0.05	317	13.6	33.0	148
不良	6.53	0.08	311	11.7	42.1	123



17

単収向上 2 土壌物理性調査



○根張り ○土壌硬度 ○耕盤 ○三相分布

18

単収向上 2 土壌物理性調査



作土層ごとの平均土壌硬度				
	5～10cm	15～20cm	25～30cm	35～40cm
良好	8.2	22.6	20.8	22
不良	13	25.8	28.2	26.2

19

単収向上 2 成果

- ・ほ場ごとにかん水管理を変更
- ・耕盤破碎, 堆肥の投入による土づくり

	R5	R6	R7
耕盤破碎取組生産者数	0戸	1戸	2戸



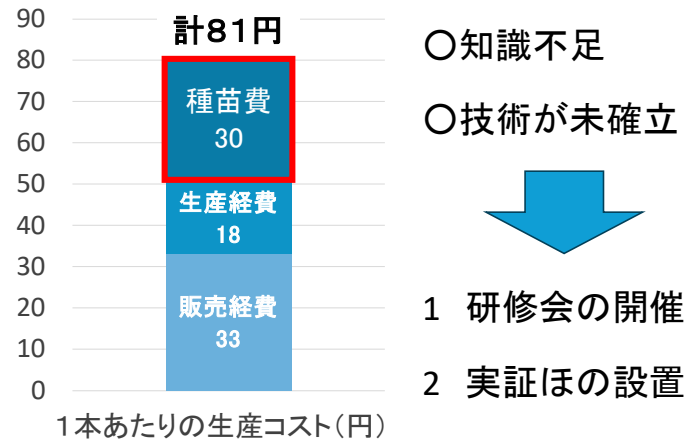
土壌水分計でのかん水管理



耕盤破碎実施ほ場

20

コスト低減 背景



21

コスト低減 1 研修会の開催



22

コスト低減 2 自家育苗技術実証

①播種作業及び種子冷蔵温度の検討

⇒ 種子コーティング割り作業の徹底

※種子冷蔵基準温度は10℃だが...

⇒ 4℃(生産者冷蔵庫), 7℃(徳之島支場冷蔵庫)

②自家育苗可能な品種の選定(種子冷蔵のみ)

●クリスハート ●ベール I 型ピンク

23

コスト低減 2 自家育苗技術実証①

平均発芽率			
品種名	冷蔵温度	R4 (コーティング割り無)	R5 (コーティング割り有)
ボレロ ホワイト	4℃	52.1%	76.7%
	7℃	—	83.9%
渚B	4℃	2.1%	84.3%
	7℃	—	89.0%

○コーティング割り作業の徹底が最重要で
冷蔵温度4℃でも育苗可能

24

コスト低減 2 自家育苗技術実証②			
品種名	発芽率	成苗率	出荷率
ボレロホワイト	91.3%	74.5%	90.0%
クリスハート	96.2%	87.6%	95.0%
ベール I 型ピンク	87.5%	78.5%	5.0%

ロゼット化:
節間が詰まり、
伸長しない状態



ロゼット化した株



ベール I 型ピンク実証区

25

コスト低減 種苗コストの比較 (単位: 円/10a)			
	自家育苗	購入苗	備考
種子/ 苗価			成苗率80% 価格
液肥代			液肥特2号
合計	115,919	633,150	

約52万円/10a
コスト低減

※冷蔵庫所有農家を前提として計算。冷蔵庫(1坪)は約25~30万円。

26

コスト低減 成果	
	•安定した発芽率を確認
	•新たに適品種を選定
	•種苗コスト試算
	⇒コスト低減可能な技術
	•2戸が導入を検討中

27

成果のまとめ
単収向上
• 土壌消毒の取組増加 (1戸→5戸)
• 生育不良対策の実施 (0戸→2戸)
コスト低減
• 自家育苗技術の確立
新規就農者の参入 (5戸→6戸)

28

今後の課題

単収向上

- 土壌消毒推進等の継続
- 基本技術の徹底
- 2度切り栽培の推進

コスト低減

- 育苗作業の省力化
- 技術の波及

29



30